２０１３年度

総　会　議　案　書

日時　２０１３（平成２５）年　５月２５日（土）

午前１０時３０分

場所　川越市立博物館　視聴覚ホール

かわごえ環境ネット

総　会　次　第

１．　開会

２．　理事長あいさつ

３．　議長選出

４．　議事

（１）　議案第１号　２０１２年度事業報告について

（２）　議案第２号　２０１２年度決算報告及び会計監査報告について

（３）　議案第３号　２０１３年度事業計画について

（４）　議案第４号　２０１３年度予算について

５．　議長解任

６．　閉会

議案第１号

２０１２年度事業報告について

１．主な事業

	年　月　日	事　業　内　容
1	2012年　4月　3日（火）	池辺公園定例活動（植物調査）
	4月　5日（木）	月刊かわごえ環境ネット4月号（No.066）発行
2	4月　9日（月）	（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査
	5月　1日（火）	月刊かわごえ環境ネット5月号（No.067）発行
3	5月　1日（火）	池辺公園定例活動（保全活動）
4	5月　14日（月）	（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査
5	5月　18日（金）	仙波河岸史跡公園保全活動（植物調査とパトロール）
6	5月　19日（土）	新緑の雑木林自然観察会
7	5月　20日（日）	虫の調査　（仮称）川越市森林公園計画地
8	5月　26日（土）	2012年度総会（川越市立博物館視聴覚ホールにて　出席37名・委任81名：計118名） 懇親会（「どんぐりの樹」にて　参加者20名）
9	5月　28日（月）	（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動
10	5月　30日（水）	県民参加生き物モニタリング魚類調査（鯨井付近）
	6月　1日（金）	月刊かわごえ環境ネット6月号（No.068）発行
11	6月　3日（日）	川の一斉水質調査に協力（市内29か所）
12	6月　5日（火）	池辺公園定例活動（除草とごみ片付け）
13	6月　5日（火）	高階北小学校3年生 森の自然学習支援
14	6月　7日（木）	霞ヶ関西小学校川遊び支援
15	6月　11日（月）	（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査
16	6月　14日（木）	県民参加生き物モニタリング魚類調査（新河岸川）
17	6月　14日（木）	上戸小学校4年生　自然学習支援
18	6月　16日（土） 6月　17日（日）	環境月間 環境啓発展　環境プラザ（つばさ館）で開催 環境月間ポスターコンクール（市主催）と同時開催
19	6月　23日（土）	社寺林の観察会（喜多院・中院）
20	6月　25日（月）	（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動
21	6月　30日（土）	県民参加生き物モニタリング植物調査（みなみかぜ田んぼ）
	7月　3日（火）	月刊かわごえ環境ネット7月号（No.069）発行
22	7月　3日（火）	池辺公園定例活動（植物調査）
23	7月　9日（月）	（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査
24	7月　22日（日）	郊外クリーン活動
25	7月　22日（日）	虫の調査　（仮称）川越市森林公園計画地
26	7月　28日（土）	百万灯夏まつりまち美化活動（29日も実施）
27	7月　30日（月）	（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動
	8月　2日（木）	月刊かわごえ環境ネット8月号（No.070）発行
28	8月　4日（土）	田んぼの生き物調査
29	8月　7日（火）	池辺公園定例活動（観察会下見）
30	8月　9日（木）	「クールスポット」温度差体験（3箇所）
31	8月　12日（日）	キツネノカミソリ観察会
32	8月　21日（火）	仙波河岸史跡公園 植物調査
	9月　1日（土）	月刊かわごえ環境ネット9月号（No.071）発行
33	9月　3日（月）	虫の調査　（仮称）川越市森林公園計画地
34	9月　4日（火）	池辺公園定例活動（除草ほか）
35	9月　10日（月）	（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査
36	9月　12日（水）	環境施設めぐり（バスツアー）かわさきエコ暮らし未来館ほか
37	9月　24日（月）	（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動
38	9月　27日（木）	砂中学校3年生 総合学習「環境講座」2012　第2回は11/1実施）

	年　月　日	事　業　内　容
39	2012年　10月　2日　火）	池辺公園定例活動（植物調査）
	10月　3日　水）	月刊かわごえ環境ネット10月号（No.072）発行
40	10月　8日　月）	（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査
41	10月　4日　木）	県民参加生き物モニタリング魚類調査（八幡神社付近）
42	10月　18日　木）	仙波河岸史跡公園植物調査
43	10月　20日　土）	川越まつりまち美化活動（21日も実施）
44	10月　22日　月）	（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動
45	10月　28日　日）	2012アースデイ・イン・川越　立門前への参加
	11月　2日　金）	月刊かわごえ環境ネット11月号（No.073）発行
46	11月　6日　火）	池辺公園定例活動
47	11月　7日　水）	西川材の森見学バスツアー
48	11月　10日　土）	第12回北公民館かんきょう祭りに参加
49	11月　12日　月）	（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査
50	11月　18日　日）	トピック講座「持続可能な社会を築くために」～温暖化とエネルギーで変化する食住への危機～ 市立中央図書館・視聴覚ホールにて　参加者６４名
51	11月　26日　月）	（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動
52	11月　27日　火）	高階北小学校３年生 自然学習支援
53	12月　4日　火）	池辺公園定例活動（種まき）
	12月　8日　土）	月刊かわごえ環境ネット12月号（No.074）発行
54	12月　10日　月）	（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査
55	12月　23日　日）	歳末まち美化活動
56	12月　24日　月）	（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動
	2013年　1月　1日　火）	月刊かわごえ環境ネット1月号（No.075）発行
57	1月　8日　火）	池辺公園定例活動
58	1月　14日　月）	（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査（雑木林観察会）
59	1月　28日　月）	（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動
	2月　1日　金）	月刊かわごえ環境ネット2月号（No.076）発行
60	2月　2日　土）	エコドライブ教習会（川越市と共催）農業ふれあいセンター
61	2月　5日　火）	池辺公園定例活動
62	2月　11日　月）	（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査
63	2月　23日　土）	かわごえ環境フォーラム（来場者80名） 午前の部：環境活動報告会、午後の部：ワークショップ（基調講演・分科会）
64	2月　25日　月）	（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動
	3月　1日　金）	月刊かわごえ環境ネット3月号（No.077）発行
65	3月　5日　火）	池辺公園定例活動
66	3月　11日　月）	（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査
67	3月　24日　日）	新河岸川の一斉清掃

【会議】

理事会	１２回開催
広報委員会	１２回開催
社会環境部会	１２回開催
自然環境部会	１２回開催
かわごえアジェンダ２１推進委員会	２回開催
かわごえ環境フォーラム実行委員会	９回開催

２．総括及び全体事業

2012 年度は、本会の目的にある「川越市環境基本計画に基づき、市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよ

う、協働して行う事業について情報提供や調整を図ることにより、地域ぐるみで本市の望ましい環境像実現のための取組を活発にすること」の基本に立ち返って、これまでの活動を継続しつつ、協働して行う事業のさらなる推進を図り、8 つの基本方針に沿って事業を進めました。基本方針に沿って実施した事業等を次に示します。

(1) **【交流事業の実施】**環境活動に取り組む人が一堂に会する交流の場として、2 月 23 日に第 11 回かわごえ環境フォーラム「産業と環境・地域との新たな関係」を実施し、個人及び団体の環境活動報告会とテーマに沿ったワークショップ（基調講演と分科会）を実施しました。この中で「事業者交流会」を初めて実施しました。また、市民に対して環境行動の普及、啓発を図るイベントとして、6 月 16・17 日に「環境月間 環境啓発展」を、川越市市制施行 90 周年記念事業として初めて開催しました。

(2) **【川越内外で行われる主要行事への参画・出展】**10 月 28 日に行われた「2012 アースデイ・イン・川越　立門前」と 11 月 10 日に行われた「第 12 回北公民館かんきょう祭り」へ実行委員として参画するとともにパネル等を出展しました。また、川越市内及び市外で行われるその他の環境関連イベントへの出展・参加を積極的に行いました。

(3) **【情報蓄積・情報共有の推進】**「月刊かわごえ環境ネット」を毎月発行するとともに、Web サイトに PDF 版を掲載して、電子化を行いました。また、ソーシャル・ネットワーキングサービスである Twitter, Facebook の活用を図り、会員内外への情報伝達・収集手段を充実させました。さらに、「第 11 回かわごえ環境フォーラム」において『かわごえ環境活動報告集』を発行し、市民・事業者等の環境活動に関する情報蓄積・情報共有を図りました。

(4) **【積極的な行事の公開】**本会が主催する見学会、観察会、まち美化活動、調査・保全活動等の行事を積極的に公開することにより、市民及び団体の環境活動への参加の機会を確保しました。

(5) **【環境に配慮した行動の普及啓発】**「6. かわごえアジェンダ 21 推進委員会」に別途事業報告を記しました。

(6) **【地球温暖化対策】**地球温暖化対策地域協議会として、『川越市地球温暖化対策地域推進計画』の推進に協力し、2 月 2 日にエコドライブ教習会を川越市と共催で実施しました。また、節電や緑のカーテンの推進など、地球温暖化防止につながるエコ暮らしの普及啓発を行いました。

(7) **【生物多様性保全・景観保全及びボランティア活動の推進】**平地林や河川、水路等の公園・緑地における動植物調査、保全活動、観察会を継続して実施しました。また、埼玉県の実施する「県民参加生き物モニタリング調査」に協力し、対象地における調査を継続しました。さらに、7 月 22 日に「郊外クリーン活動」、12 月 23 日に「中心市街地 歳末まち美化活動」を実施して、市民・事業者に対するボランティア活動の場を提供しました。

(8) **【行政・他団体への協力】**6 月 3 日の「川の一斉水質調査」、6 月 14 日の「上戸小「わくわくタイム」自然学習プログラム支援」、7 月 28 日の「小江戸川越打ち水風情’12」、8 月 4 日のみなみかぜにおける「田んぼの生き物調査」、9 月 27 日・11 月 1 日の「砂中学校 3 年生総合学習「環境講座」」、11 月 27 日の「高階北小学校 3 年生への自然学習支援」など、環境保全活動を推進する川越市内外の個人、事業者、民間団体、学校、行政等が実施する事業に協力しました。

３．広報委員会

2012 年度の広報活動は、月刊誌の内容充実と月初めに確実に発行することを中心に努め、新しい委員の協力でおおむね実行することができました。配布先も、公民館や学校ばかりでなく、少部数ながら数箇所拡大し、本会の存在を PR することができました。新しい寄稿者も増え、月ごとに川越の自然の発見につながる企画もスタートしました。長く続いた個人会員を中心とした活動紹介も 12 月号で一旦終わり、2013 年度から想を改めて進めたいと思います。Web サイト、Twitter 等の IT ツールを活用して、若い人材の協力が今後の課題となりましょう。

４．社会環境部会

2012 年度社会環境部会では、部会全体事業として環境施設見学会（見学先：かわさきエコ暮らし未来館及びキリンビール横浜工場）を 9 月に行いました。10 月には、部会親睦会を行い、環境講演会としては、前年度に引き続き上村雄彦先生のトピック講座「温暖化とエネルギーで変化する食住への危機」を 11 月に実施しました。

また、本会全体事業としての 6 月の環境月間 環境啓発展、10 月の 2012 アースデイ・イン・川越　立門前、11 月の北公民館かんきょう祭り、12 月の歳末美化活動等に積極的に参加しました。個別事業としての 1）地球温暖化対策、2）環境保全・資源化推進、3）まち美化についても、それぞれ活発に活動しました。

1）地球温暖化対策

2 月のかわごえ環境フォーラムにおける午後の分科会「エコライフ・エコ活動」では、積極的な意見交換ができました。夏冬のエコライフ DAY チェックシート記載促進による意識の高揚、かわごえアジェンダ 21 のアンケート調査、環境家計簿記録による温暖化対策を推進しました。また、緑のカーテンについては、環境月間 環境啓発展でゴーヤ苗を 150 鉢配布しました。エコドライブ活動は、環境政策課と協働で教習会を実施するとともに、月刊かわごえ環境ネットに 3 回にわたって記事を連載し、エコドライブ効果の周知に努めました。クールスポットの効果については、温度差以上に、緑の木々が二酸化炭素を吸収し、酸素を放出してくれるすがすがしさの効果の大きさを周知する努力を行いました。

2）環境保全・資源化推進

廃棄物減量化、生ごみの堆肥化等課題が大きいにもかかわらず、なかなか周知徹底が進まず、足踏み状態になっています。分別収集は推進されていますが、生ごみ等を含めた可燃物の減量化意識の徹底が難しく、今後の課題となっています。有機野菜つくりの推進は、今後、廉価な農産物の輸入品が多くなると思われますが、自分で作った安心、安全で健康的な野菜つくりの機運は高まっており、これからも遊休農地の活用、健康志向等で促進できると思われます。川の再生活動は、埼玉県知事のリーダーシップで推進されていますが、まだまだ子どもたちが、川になじむところまでゆかず、継続課題と思われます。

3）まち美化活動

月 4 回の市街地の美化活動、イベント時の活動、年末の大学生を交えた美化活動等、地道な活動が功を奏し、一部企業の参加等があり、住民、観光客の意識も高まりつつあるようです。ボランティアとしての美化活動は、地道で、強い意志をもっての活動であり、こ

れらの活動により市民全体に捨てない、汚さないといった意識の高まりが徐々に浸透し、観光都市川越へ向かってきているようです。

この一年、これらの活動が一歩前進したものの、まだまだ部会の活性化及び増員、市民への拡大に課題も残り、2013 年度にさらなる頑張りの必要性を感じているところです。

５．自然環境部会

川越の自然要素としての樹林地は減り続けており、田畑も減少していっています。このような状況で在来の自然を遺すのはそう簡単ではありません。世界的に生物多様性保全の重要性が明らかになり、川越市でも昨年初めて、市民向けの講座が行われました。

自然環境部会は発足当初から、川越の水と緑の保全再生をテーマに活動してきましたが、一昨年からはこれを生物多様性保全に置き換えています。以下に大まかに 2012 年度の報告をします。

（１） 行政とのパートナーシップについて

川越市の動植物データベース作成協力、埼玉県の県民参加生き物モニタリング調査に協力。

（２） 調査活動について

水生動植物に関しては、湧水のある水域での調査を 3 回実施。「(仮称) 川越市森林公園」計画地をコアとした雑木林では毎月、植物、昆虫の調査を実施し、新たに絶滅危惧種も見つかった。昆虫類は専門家を招いて 3 回調査した。

（３） 保全再生活動について

「(仮称) 川越市森林公園」計画地では在来の植生を再生するための手入れ活動を毎月実施した。池辺公園では絶滅危惧種などの希少種保全･再生のため毎月実施した。

（４） 自然観察会

一般市民に川越の自然を楽しみながら知ってもらうために、「(仮称) 川越市森林公園」計画地、喜多院・中院の社寺林、池辺公園（キツネノカミソリ）などで行った。初めて参加する人が多く、広める成果はあった。冊子「川越の自然」を活用。

（５） イベント

田んぼの生き物調査、バスを利用した「西川材の森ツアー」など、参加者多数。

（６） 学校教育支援

自然環境教育の一環として、高階北小学校、上戸小学校の 2 校。

以上、多くの方々のがんばりで初期の目標は達成できましたが、課題は尽きないのが現実です。

６．かわごえアジェンダ 21 推進委員会

市民向けのイベントや学校において『環境に配慮した行動チェックシート』を 349 名に対して実施し、環境に配慮した行動の普及啓発を図りました。前年度の結果ついては、かわごえアジェンダ 21 の進捗状況を『平成 24 年度版 かわごえの環境（第 6 号)』の「市民・事業者の環境への取組状況」へ掲載しました。また、川越市環境行動計画『かわごえアジェンダ 21』の現在実施している本会等の事業との関連を確認しました。

議案第２号

２０１２年度決算報告及び会計監査報告について

収入

単位 :円

項	目	予算額	収入済額	差引	説明
会費		222,000	222,000	0	
	会費	222,000	222,000	0	個人 :1,000円×100人、民間団体等 :2,000円×61団体
委託金		90,000	60,000	△ 30,000	
	委託金	90,000	60,000	△ 30,000	県民参加生き物モニタリング調査委託金
補助金		400,000	400,000	0	
	補助金	400,000	400,000	0	川越市より補助金
協賛金		125,000	150,000	25,000	
	協賛金	125,000	150,000	25,000	協賛金 25,000円×6社（パイオニア㈱・初雁興業㈱・㈱環境総合研究所・トーヨーケム㈱・武州ガス㈱・武州製薬㈱）
積立金		0	0	0	
	積立金	0	0	0	
繰越金		243,442	243,442	0	
	繰越金	243,442	243,442	0	2011年度より繰越
諸収入		60,078	96,738	36,660	
	諸収入	60,078	96,738	36,660	参加費 70,200円（社会環境部会 27,000＋自然環境部会 43,200）、利息38円、『川越の自然』頒布収入等 26,500円
合　計		1,140,520	1,172,180	31,660	

支出

項	目	予算額	支出済額	差引	説明
事業費		408,000	414,040	△ 6,040	
	活動費	118,000	171,600	△ 53,600	部会・かわごえ環境フォーラム活動費、年会費、サーバ更新料、保険料他
	報償費	100,000	70,000	30,000	講師謝礼
	交通費	100,000	112,440	△ 12,440	バス借上げ代他
	県事業費	90,000	60,000	30,000	県民参加生き物モニタリング調査事業費
会議費		30,000	1,000	29,000	
	会議費	30,000	1,000	29,000	会場使用料
事務費		548,000	500,745	47,255	
	需用費	355,000	302,001	52,999	「かわごえ環境活動報告集」印刷費、コピー代、封筒代、コピー用紙代他
	役務費	193,000	198,744	△ 5,744	ゆうメール、はがき代、切手代他
積立金		0	0	0	
	積立金	0	0	0	
予備費		154,520	0	154,520	
	予備費	154,520	0	154,520	
合　計		1,140,520	915,785	224,735	

（収入済額）1,172,180円－（支出済額）915,785円　＝　256,395円（2013年度へ繰越）

上記のとおり決算報告いたします。

かわごえ環境ネット
理事長　小瀬　博之

会計監査報告

2013年 4月 26日に２012年度かわごえ環境ネットの会計監査を実施したところ、適正に執行されていましたので、これを報告いたします。

2013年 4月 26日

かわごえ環境ネット
監　事　鎌田　政稔

監　事　佐野　康子

議案第３号

２０１３年度事業計画について

～２０１３年度事業計画~~（案）~~～

１．2013 年度の基本方針

2013 年度は前年度に引き続き、本会の目的である「川越市環境基本計画に基づき、市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよう、協働して行う事業について情報提供や調整を図ることにより、地域ぐるみで本市の望ましい環境像実現のための取組を活発にすること」に基づいて、継続的な改善を図りながらこれまでの事業を実施します。なお、時限的な組織であった「かわごえ環境フォーラム実行委員会」を発展させて、常置の「事業運営委員会」として、全体事業の実施主体の明確化と事業のさらなる推進を図ります。

本節では、本会の基本方針として 5 つの事業をとりあげ、それぞれにおいて全体事業を中心とした事業を示します。

(1) **【交流事業】**2 月に「第 12 回かわごえ環境フォーラム」を実施し、環境活動報告会とテーマに沿ったワークショップ（講演会、分科会）を実施します。その他、交流行事を積極的に開催し、会員内外の交流の機会を設けます。

(2) **【普及・啓発事業】**6 月 15・16 日に「第 2 回 環境月間 環境啓発展」を実施して、展示物などにより市民に対する環境行動の普及啓発を図ります。また、ボランティアの機会の提供と地域への啓発のために、まち美化活動を 7 月（郊外）・10 月（川越まつり）・12 月（中心市街地）に実施します。その他、8 月 4 日に行われる「エコプロダクツ川越 2013」、10 月 6 日に行われる「2013 アースデイ・イン・川越　立門前」、11 月に行われる「第 12 回北公民館かんきょう祭り」など、川越市内外で行われる普及・啓発イベントに積極的に参加します。行事以外にも、エコ暮らし（緑のカーテン、エコドライブ、節電、節水、ごみの減量など）、クールスポットの紹介など、広報を通じて普及・啓発事業を推進します。

(3) **【調査事業】**全国的に実施する行事に合わせて 6 月 2 日に「川の一斉水質調査」を実施します。また、埼玉県の事業である「県民参加生き物モニタリング調査」に引き続き参加します。その他、川越市内で実施する環境調査に協力します。

(4) **【学習支援事業】**総合的学習の時間等における学校の環境学習を支援します。また、市民の学習の場として講演会・見学会・自然観察会などの行事を開催します。

(5) **【広報・情報事業】**本会や会員が主催した行事、会員の紹介や会員等からの活動報告などを取りまとめて「月刊かわごえ環境ネット」を毎月発行し、情報の蓄積と情報共有を図ります。また、Web サイトの運営とソーシャル・ネットワーキングサービスの活用によって、会員内外への広報と情報交流を推進します。また、かわごえ環境フォーラムの開催に合わせて『かわごえ環境活動報告集』を発行し、市民・事業者等の環境活動に関する情報の集積を図ります。

２．広報委員会

2013 年度の広報活動は、昨年度の実績をさらに発展させるために、委員の充実補強に努めながら、取材編集能力のスキルアップを図り、定時発行を第一に活動を続けてまいります。生き生きとした川越の自然の発見、会員活動紹介の新企画などを進めます。市民が誇

りとする「住みたくなるまち川越」は、市民の環境への関心の高まりから生まれてきます。広報活動を通して、会員の増強につながる親しまれる誌面編集とともに、配布先の開拓にも努めてまいります。IT 関係の情報発信に一層力を注ぐとともに、委員のスキルアップにも努力し、会員の積極的な意見や企画を吸い上げて魅力ある広報活動を進めます。

３．社会環境部会

1　部会全体活動

1）環境施設見学会

今年度は、江戸時代の頃の、諸外国との交流もほとんどなく、二酸化炭素も出さない、ゆっくり、のんびりの時代から、世界の情報が即座に入る、スピード優先の情報化社会へ展開されている一方で、地球温暖化や生物多様性の減少など地球環境が悪化の方向に進んでいる現代・未来を比較して考える施設見学会を 9 月に実施します。

2）環境講演会・討論会

6 月の環境月間 環境啓発展では、パネル展示をはじめ、ゴーヤ・フウセンカズラの苗、有機肥料サンプル等の配布、魚類展示等を行う予定です。また、会場の一角で地球温暖化対策、エコ暮らし等の話題で小規模なパネルディスカッションを行う計画をしています。多くの方に参加していただけると幸いです。

2　個別推進テーマ

1）地球温暖化対策

物価の上昇、二酸化炭素の排出増加等を踏まえ、エコ暮らしは必須の課題となってきています。全体活動としても積極的に取り上げ、最重点課題として取り組みます。また、その一環としての緑のカーテン、エコドライブ、クールスポットの活用等、積極的に推進します。

2）環境保全・資源化推進

ごみの分別排出は、分別収集の徹底により、定常化してきていますが、可燃ごみ、特に生ごみの減量化は、なかなか徹底されていません。地道に活動せざるを得ない状況です。今般、北公民館で、子どもたちの食育の一環として、生ごみを堆肥化して、プランターで野菜を育て、エコクッキングを行って食する体験学習が行われるので、全面的に支援します。また、有機菜園講座、小学校の野菜つくり支援等、継続して行います。川の国応援団の活動は、市民、特に子どもたちが川に親しむ活動につなげたいと思います。

3）まち美化活動

月４回の街中の美化活動、イベント時の活動等定常化され、市民の意識も高まってきており、引き続き実行することにより、観光都市にふさわしい市街になっていくと思われます。しかし、郊外地域では、年 2 回のごみゼロ運動の日には大勢参加するものの、人のあまり通らないところの不法投棄、犬の糞の散乱、川の中の汚れ、道路脇のごみ等、まだまだ改善の余地があります。市民の意識が高揚するよう努めていきたいと思っています。

４．自然環境部会

自然環境部会は発足以来、川越に残る良好な自然環境の探求とその保全再生活動を続けてきました。近年さらに樹林地の開発が進み、やせ細る自然ですが、世界は「生物多様性保全」に軸足を置き始めました。2010 年の COP10 を契機に日本でも法が整えられつつあり、国、埼玉県の法令を参考に川越市でも対応を始めるべく昨年度から本会が協働することになりました。

今年度は次頁の一覧表にありますように、7 項目の活動を予定しています。川越市は河川や雑木林があり、自然が残っているイメージですが、実際には外来種や移入種が席巻し在来種は非常に少なくなっています。これまで継続して調査や保全活動をしてきたエリアとともに他の団体とも連携し、川越の自然を記録していく必要があります。

また、河川環境については「入間川まるごと再生プロジェクト」に関連し、協力できることを取り組んでいきます。

環境ネット自然環境部会　2013年度事業計画案

メインテーマ :生物多様性の保全と再生

項目	実施内容	実施場所・時期
1. 行政とのパートナーシップ	①・川越市のデータベース作成（協力 ・チョウの市民調査協力 （環境政策課）	川越市全域　随時
	②県民参加モニタリング調査協力 （5年目　これで一応終了）	魚類4箇所　　植物1箇所
2. 調査活動	①　水生動植物の生息調査 ・魚類調査 ・水生植物調査（含　沈水植物） ②　雑木林の調査 ・植物調査（フロラリスト作成） ・生態系調査（データベース連動） ③　有機田んぼの調査 ④市民参加の身近な自然調査	・鯨井　資源化センター付近水路（4月） ・新河岸川　新城下橋下流（5月） ・小堤　八幡神社付近水路（6月） ・九十川　　（9月） ・「（仮称）川越市森林公園」計画地 毎月第2月曜日 ・市内保存樹林（随時） ・みなみかぜ田んぼ（吉田）　6月　8月 ・チョウの調査
3. 保全再生活動	①雑木林の在来希少種を残す保全活動 ②池辺公園の希少種の保全再生 ③仙波河岸史跡公園の植物調査と環境パトロール	・「（仮称）川越市森林公園」計画地 公有地エリア　毎月第4月曜日 ・毎月第 1火曜日 ・仙波河岸史跡公園　5, 7, 10月
4. 自然観察会	①雑木林の自然観察 ②キツネノカミソリ観察会	・「（仮称）川越市森林公園」計画地 新緑の雑木林　5月 キノコの観察会　7月 虫の観察会　7月 ・池辺公園、市民の森8号地　8月中旬
5. イベント	①田んぼの生き物調査 ②チョウの調査・学習会 ③狭山丘陵自然探索ツアー ④湧水探訪ツアー ⑤入間川の地引網（荒川流域ネットワークに協力）	・みなみかぜ田んぼと共催　8/3（土） ・9月　安比奈親水公園 ・ 11月（バス利用） ・ 11月 ・ 9/29（日）
6. 法令勉強会	生物多様性保全地域戦略策定に向けて （日々失われていく自然環境をより保全するために、法令の勉強会を行う。）	・随時
7. 学校教育支援		・要請があれば随時

５．事業運営委員会

今年度より新たに発足する事業運営委員会では、本会の全体事業（かわごえ環境フォーラム、環境月間 環境啓発展)、協働・参画事業（川の水質調査、郊外・川越まつり・中心市街地におけるまち美化活動、アースデイ・イン・川越 立門前）等の企画・運営を行います。担当組織を明確にすることで、効率的かつ効果的に事業を実施します。

６．かわごえアジェンダ 21 推進委員会

市民向けのイベントや学校において『環境に配慮した行動チェックシート』を実施して川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ 21」の推進状況を継続的に把握します。また、かわごえアジェンダ 21 の推進状況のまとめとして、前年度のチェックシートの実施と本会の主要事業を『平成 25 年度版 かわごえの環境（第 7 号)』の「市民・事業者の環境への取組状況」へ掲載します。さらに、平成 27 年度の目標年度に向けて、現在の「かわごえアジェンダ 21」の内容を評価して、今後行われる内容の見直しに向けての準備を進めます。

議案第４号
２０１３年度予算について

～２０１３年度予算~~（案）~~～

収入

単位 :円

項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
会費		223,000	222,000	1,000	
	会費	223,000	222,000	1,000	個人 :1,000円×103人、民間団体等 :2,000円×60団体
委託金		60,000	90,000	△ 30,000	
	委託金	60,000	90,000	△ 30,000	県民参加生き物モニタリング調査委託金
補助金		400,000	400,000	0	
	補助金	400,000	400,000	0	川越市より補助金
協賛金		150,000	125,000	25,000	
	協賛金	150,000	125,000	25,000	かわごえ環境フォーラム協賛金
繰越金		256,395	243,442	12,953	
	繰越金	256,395	243,442	12,953	2012年度より繰越
諸収入		73,038	60,078	12,960	
	諸収入	73,038	60,078	12,960	参加費 73,000円（社会環境部会 30,000＋自然環境部会 43,000）、利息38円
合　計		1,162,433	1,140,520	21,913	

支出

項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説明
事業費		418,000	408,000	10,000	
	活動費	146,000	118,000	28,000	部会活動費、年会費、サーバ更新料、保険料他
	報償費	102,000	100,000	2,000	講師謝礼
	交通費	110,000	100,000	10,000	バス借上げ代他
	県事業費	60,000	90,000	△ 30,000	県民参加生き物モニタリング調査事業費
会議費		3,000	30,000	△ 27,000	
	会議費	3,000	30,000	△ 27,000	会場使用料
事務費		537,000	548,000	△ 11,000	
	需用費	341,000	355,000	△ 14,000	「かわごえ環境活動報告集」印刷費、コピー代、封筒代、コピー用紙代他
	役務費	196,000	193,000	3,000	ゆうメール、はがき代、切手代他
予備費		204,433	154,520	49,913	
	予備費	204,433	154,520	49,913	
合　計		1,162,433	1,140,520	21,913	